

令和4年第8回臨時会

議案説明資料

提出課： 農林水産課

議案番号	104	令和4年度大山町一般会計補正予算(第8号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	30 農林水産業費	項	5 農業費	目	3 農業振興費	
事業番号	1193	事業名	耕畜連携推進事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,091	1,150	900			250	0
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p><b>【補正理由】</b> 肥料価格高騰下において町内産堆肥利用への転換・増進を図るため、町内産堆肥利用促進助成補助金の助成額を増額する。</p> <p><b>【事業概要】</b> 肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の支援を行う。現在、町内産堆肥利用促進助成として2t当たり5,000円の支援をしているが、これを8,000円とすることで農業者の負担軽減と堆肥利用増進を図る。 事業実施主体は鳥取西部農業協同組合とする。</p> <p>・当初計画の500tから100tの利用増を見込む。 @5,000円/2t × 100t = 250,000円</p> <p>・計600tに対して、助成額を3,000円増額する。 @3,000円/2t × 600t = 900,000円</p> <p>※これまでは平成28年度の636tが散布量として最大。 当時は堆肥代(散布代含)10,044円に対して、堆肥助成額の上限が8,000円であった。 現在は、堆肥代(散布代含)は10,230円に対して、5,000円としている。</p> <p><b>【特定財源の名称等】</b> ふるさと応援基金繰入金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>				<p><b>負担金補助及び交付金</b></p> <p>町内産堆肥利用促進助成補助金 250千円</p> <p>町内産堆肥利用促進助成補助金 900千円 (肥料価格高騰対策分)</p>		

令和4年第8回臨時会

議案説明資料

提出課： 農林水産課

議案番号	104	令和4年度大山町一般会計補正予算(第8号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	30 農林水産業費	項	5 農業費	目	3 農業振興費	
事業番号	1495	事業名	肥料価格高騰対策事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	22,000	22,000				0
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p><b>【補正理由】</b> 化学肥料価格が高騰し農家の経営を圧迫していることから、緊急的に農家へ支援を行う。</p> <p><b>【事業概要】</b> 化学施肥量の2割以上削減に資する取組を行う取組実施者に対し、肥料費の対前年増加見込額のうち7割を国が助成する。県は補助残の1/3(1割相当)を助成する。町も県と同額助成を行うことで肥料高騰による農業経営への影響を軽減する。対象となる肥料は令和4年度秋肥から令和5年度春肥として購入したもの。 事業実施主体は大山町農業再生協議会とする。</p> <p style="text-align: center;">( 国助成金の流れ 国→県協議会→町協議会→農業者 県助成金の流れ 県→県協議会→町協議会→農業者 町助成金の流れ 町→町協議会→農業者 )</p> <p>大山町分として、県が試算する県全体額(220,000千円)の1割相当額を見込む。→ 22,000千円 ※2020農林業センサスによる農業経営体数より 1,408(大山町)/14,481(鳥取県)=9.72% → 約1割</p> <p><b>【特定財源の名称等】</b> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>				<p>負担金補助及び交付金</p> <p>肥料価格高騰対策事業補助金 22,000千円</p>		